



# 栃木県立足利南高等学校

## 令和元年度 総合学科通信 第2号

No.54

(2019/12/20発行)

### 一日体験学習

教頭 服部 榮

令和元年7月31日に1日体験学習を実施しました。猛暑が予想されたため、冷房のある教室で実施しました。当日は、足利・佐野を中心とした36校から、中学生469名、保護者284名に参加していただきました。

まず、生徒の作成による総合学科紹介ビデオとライフプランの発表、卒業生による課題研究発表のビデオを視聴してもらい、続けて教育課程や進路状況の説明、ホークスベリー高校との交換留学や東京インドネシア共和国学校との交流の概要説明を行いました。次に、希望した中学生には英会話、陶器作り、白玉団子づくりなどの体験授業を受けていただきました。

中学生のアンケートには、学校・学科の教育上の特色や内容が「よく・だいたい理解できた」：100%、この一日体験学習が「大変参考になった」：100%という評価をもらいました。在校生達が、それぞれの立場で立派に行動したことが、中学生に好印象を与えたようです。



### 令和元年度修学旅行

2学年主任 山田英城

去る9月25日から28日までの3泊4日の期間で、沖縄方面への修学旅行に行ってきました。直前まで台風の影響などが心配されましたが、生徒の日頃の行いのおかげで四日間とも好天に恵まれ、とても素晴らしい修学旅行となりました。主な内容は、平和祈念公園での平和学習、ナビビーチとその周辺施設でのマリンスポーツ体験と伝統文化体験、美ら海水族館での海洋生物観察などでした。普段触れることができない文化や平和の大切さを直に学ぶことができ、とても貴重な経験となりました。

最後に、世界遺産である首里城が先日の火災で焼失してしまいました。最終日に訪れた際の鮮やかな色彩は、まだ印象深く心に残っています。この場を借りてお見舞いを申し上げますと共に、復興を祈念致します。



### 「修学旅行を振り返って」

2年2組 大野 ひより (山辺中 出身)

私達2学年は修学旅行で沖縄に行ってきました。この3泊4日で学んできたことを紹介します。

1日目に平和祈念公園に行き、そこで戦争体験講話を聞きました。戦争のない時代に生まれてきた私達は今ある環境を大事にして生きていこうと思いました。2日目、3日目と私達は沖縄の自然を満喫してきました。どこを見ても広がる青い海、青い空には感動しました。最終日は首里城公園に行ってきました。歴史的な建物で迫力がありました。

また、私は修学旅行委員長として、さまざまな仕事をさせていただきました。大変だった事もありましたが、修学旅行が無事に終わることで良かったです。とても充実した時間を過ごすことができました。



### 国際理解講演会

国際理解係 小倉 麗華

10月28日(月)、第1体育館にて国際理解講演会が実施されました。今年度は、佐野市で英会話教室を主宰されている落合正美様にお越しいただきました。

講演会の演題は「英語習得を通して学んだこと・伝えたいこと」で、日本語と英語におけるコミュニケーションの取り方の違いについてお話いただきました。講演では、英語にまつわるご自身の恥ずかしい失敗をデモンストレーションしていただいたり、同じジェスチャーでも日本と他国では全く違う意味になってしまうことを教えていただいたりして、言葉や文化の違いに触れました。

講演中、「質問は社会貢献」と落合様がおっしゃっていました。これからは皆さんも何かを学ぶ際に実践してみましよう。自分の疑問が他の誰かを救うかもしれません。



### 東京インドネシア共和国学校との交流会

生徒会係 春日 幸市

11月20日(水)に、昭和57年度から相互交流をしている東京インドネシア共和国学校(以下、インドネシア学校)の生徒36名、教職員6名の計42名をお迎えして、本校を会場に交流会を実施しました。今年度も両校にとって有意義な交流会となるように、学校行事として全職員・全生徒が何らかの形で関わられるような日程にしました。通常授業は1、5・6時限目にし、2時限目に全体交流会を第一体育館で行い、3・4時限目に文化部発表会を行いました。インドネシア学校の生徒による舞踊と武道や吹奏楽部・フォーク部による演奏があり、展示では、美術部・写真部・天文気象部・生物部による発表がありました。楽しい時間を両国の生徒が共有できました。また、5・6時限目には、生徒会役員、ICE部員、ホークスベリー留学希望者、2年スポーツⅡ受講者でクリケット競技交流をし、両校の生徒同士の交流を深め、インドネシア学校の皆さんに楽しんでいただきました。

いろいろな生徒達や先生方の協力のおかげで無事に立派な交流会を実施することができたと思っております。次回、2年後に出迎える際には今回以上のおもてなしができればよいと思っております。

## 特色のある授業

### 子どもの発達と保育

家庭科 関 悠美子

子どもの発達と保育は、2・3年生で選択履修できる科目で、受精から胎児期の様子、出産、乳児期・幼児期の特徴などを学び、生徒自身が子どもを保護・保育する立場になった際に、身につけておくべき、知識・技能の習得を目指しています。座学で得た知識をもとに、壁面構成の作成、幼児食の調理実習、保育検定の受検など、実技も充実させた実践的な授業を展開しています。その中でも、生徒が一番楽しみにしているものが「保育実習」です。毎年、半日という短い時間ではありますが、実際に乳幼児と関わり、改めて保育することの難しさ、大変さ、楽しさ、嬉しさを実感することのできる、とても学びの多い実習です。今年は芋掘りの手伝いをした後、各クラスに分かれて、自由遊びや着替え、おむつ替え、昼食の介助等の実習を行いました。子どもに興味がある、将来保育士や幼稚園教諭を目指しているという生徒は、ぜひ、「子どもの発達と保育」を選択してみてください。



### 「保育実習に参加して」

2年1組 船木 仁香 (城東中 出身)

子どもの発達と保育の授業では、子どもの発達の特徴や発達の過程など保育に関する知識を深めていけるような授業を受けてきました。また、折り紙検定など保育で身につけるべき技術も習得することができました。2学期では、保育実習に向けてカレンダーや名札を作ってきました。子ども達の喜ぶ姿を想像して作るのはすごく楽しかったです。

当日は、子ども達の喜ぶ姿やはしゃぐ姿を見ることができてとても嬉しく、素敵な思い出になりました。これまでに授業で学んできたことを間近で見ることができたり実践に移すことができたり良い実習時間にすることができました。これからも保育の力を伸ばせるように頑張っていきたいです。



### 「インドネシア共和国との交流を通して」

ICE部 中島 明日香(坂西中 出身)

今回、東京インドネシア共和国学校との交流会に参加して、インドネシアの素晴らしい文化や伝統を知ることができました。午前の全体交流会で見た伝統的な踊りは、美しくとてもリズムカルで思わず踊りたくなりました。また、扇を使った武道も披露していただきました。日本の動きとは異なる動きだったので、とても驚きました。そして、午後はスポーツⅡの生徒も交えてクリケットをしました。私もクリケットは初めての体験でしたが、一緒に体を動かすことで、とても楽しい思い出になりました。

交流会を通して、インドネシア語を話せなくても、身振りや手振り、片言の英語を使いながら、伝えようとする努力が大切だとわかりました。とても楽しく充実した1日でした。



### 「文化部発表会を通して学んだこと」

生徒会 片平 元気 (富田中 出身)

文化部発表会を通して、日本・インドネシアの理解が更に深まったと同時に、異文化の何たるかを垣間見た気がしました。発表の内容は勿論のこと、見ているときの姿勢や反応からも見受けられる場面が多数ありました。中でも本校からのフォーク部の発表では、それが顕著に表れていたように感じます。

このような体験から私は同じアジア圏内といえども伝統的な事柄に留まらず、人柄や気性など人間の内面的な文化も大きく異なっているということ学びました。今後、日本社会はさまざまな場面でグローバル化が進んでいくと思います。今回の体験で学んだ、異文化の奥深さや難しさ、そして楽しさは足利南高校の生徒の社会進出に大いに活かされていることと思います。



発行：栃木県立足利南高等学校

教務部広報係

TEL：0284-72-3119(事務室)

FAX：0284-73-2772

TEL：0284-72-3118(職員室)